

## 技術(機械)名: 葡萄ジベレリン処理塗布器(GA1&2)

### 概要

- 一般に生食用ブドウの生産においては、無種子化(第1回目ジベレリン処理)や肥大化(第2回目ジベレリン処理)を目的として、開花後ブドウの房にジベレリン薬液をかけます。
- しかし、薬液の雫(余液)が果実に残ると果実が裂果するサビ不良に繋がる可能性が大きくなります。この余液は、花冠があると薬液が残留する傾向となるので、特に大粒種のシャインマスカット、ナガノパープル等においては花冠を落とす作業をジベレリン処理の前に済ませたいというニーズがあります。
- 本装置は、第1回目のジベレリン処理作業時に薬液塗布圧力を高めることにより、花冠を落としながらジベレリン処理を同時に行うものです。本装置は液圧や流量も調節できますので、第2回目のジベレリン処理作業にも対応が可能となっています。

### 写真、図表等



### 効果

- 花冠が多く、取りにくいと言われているナガノパープルの露地栽培品に対して、本装置を使用して花冠取り作業と第1回ジベレリン処理を同時に実施できました。今後、更に多くの品種で確認を行う予定です。
- 薬液の流量調整を行うことで、第2回ジベレリン処理の作業も実施可能です。
- 花冠が落ちることで、房に残る余液も減少するため、房の確認や余液を払い落とす作業時間を減らすことが期待できます。
- ジベレリン処理と同時に、薬液の残留原因となる花冠を取り除くことで、品質向上(サビ不良の防止)が期待できます。